



3回ある！？カンボジアのお正月

神戸大学 経済経営研究所
助教 石川 祐実

2月末で神戸大学経済経営研究所に着任してちょうど1年になります。1年前の頃は博士論文の執筆や口頭報告審査会の準備で年末年始もとても忙しかったのですが、今年は家族でゆっくりお正月を過ごすことができました。今回は私が学生時代に1年間滞在したカンボジアのお正月をはじめ、カンボジアの文化について一部ご紹介します。

カンボジアにはお正月が3回あります。1月1日のインターナショナル・ニューイヤー、2月の中国暦の旧正月、そして4月中旬のクメール正月です。カンボジアには古くから中国系の移民が多く住んでおり、中国文化の影響を受けて旧正月もお祝いするそうです。この時期になると毎月のようにお正月を祝うカンボジアですが、中でもクメール正月はカンボジアの人々にとって特別なもので、皆この時を楽しみにしています。多くの人が故郷に帰省し、家族と新年を祝います。カンボジアには日本と同様に十二支があるのですが、クメール正月をもって干支が改まります。新年になると新しい干支の女神が天から降りてくるという言い伝えがあり、各家庭では祭壇にお供え物を飾り、女神を迎える準備をします。家族や親戚と食事をしたり、夜になると寺や学校などに集まり音楽をかけてダンスをしたり、にぎやかにお正月を祝います。

カンボジアに行くまでは知らなかったのですが、カンボジアの人々はダンスがとても好きです。お正月に限らず職場のパーティーや旅行でも夜になると必ず定番の音楽がかかり、夜な夜な踊り明かします。日本の盆踊りのようにみんなで輪を作り、ぐるぐる回りながら踊ります。曲ごとに振付が決まっており、ペアで踊るものが多いですが、一人一人踊る曲もあります。私も機会があれば毎回振付を教わりながら参加していました。普段は真面目でシャイなイメージの同僚達がダンスの時間になるとものすごくハイテンションで踊りまくっているのも楽しかったです。

カンボジアはアンコール遺跡群をはじめとする世界遺産が有名ですが、カンボジアのグルメもとても魅力的です。特に私はカンボジアのスイーツが好きで、近所のマーケットのスイーツ屋台に通っていました。マーケットのスイーツ屋台では、写真のようにかぼちゃプリン、ココナッツミルクのお汁粉、タピオカの他、何種類ものゼリーが並んでいて、好きなものを選んでボウルによそってもらいます。一つ1ドル程だったかと思います。なかでも私

はかぼちゃプリンが好きで、よく選んでいました。スイーツ屋台の写真はちょうど私がかぼちゃプリンを注文して切り分けてもらっているところです。カンボジアのかぼちゃプリンはかぼちゃの種の部分を取り出して、そこにココナッツミルク風味のプリンが入っているというものです。プリンの部分は甘いのですが、かぼちゃの部分は素材そのものの味なので意外とさっぱりしています。この屋台では写真のようにプリンに削った氷とココナッツミルクをかけてくれます。暑いカンボジアでは嬉しい冷たいスイーツです。余談ですが、「かぼちゃ」の名称の由来はカンボジアであるとされているそうです。16世紀半ばにポルトガル人が初めて日本にかぼちゃを贈った際に「カンボジア産の瓜」と伝えられたものが転訛し、「かぼちゃ」と呼ばれるようになったと言われているそうです。

カンボジア滞在中にコロナ禍になり、その後なかなか行けていないのですが、今年はカンボジアでの調査も始められたら良いなと思っています。



世界遺産「アンコールワット」



かぼちゃプリン



マーケットのスイーツ屋台